会報　白ゆり

vol.80

2023（令和5）年1月31日 発行

発行　愛知県母子寡婦福祉連合会　〒462-0033　名古屋市北区金田町 3-11　TEL　052-915-8862　FAX　052-915-8444　https://aiboren.jp

『愛知県政150周年記念感謝状』をいただきました

現在の愛知県 は、1872（明治5）年11月27日に誕生し、2022年11月27日に150周年を迎えました。

『愛知県』の150回目のリアルお誕生当日、愛知県芸術文化センター愛知県芸術劇場大ホールにおいて、『愛知県政150周年記念式典』愛つなぐ。知ひらく。が開催され、当団体も名誉なことに『愛知県政150周年記念感謝状』をいただきました。

【愛知県の成立まで】
明治維新当時、尾張には名古屋藩・犬山藩、三河には刈谷藩・西尾藩等の12藩がありました。
廃藩置県により12県が成立。その後、尾張は「名古屋県」に、三河は「額田県」に統一。
「名古屋県」が「愛知県」と改称された後、1872年11月27日に、「愛知県」と「額田県」が合併し、今の愛知県が誕生しました。

感謝状

社会福祉法人
愛知県母子寡婦福祉連合会殿

あなた方は多年にわたり優れた理念をもって業務に精励し本県の発展に寄与されその功績は誠に大でありますので県政一五〇周年にあたり深く感謝の意を表します

令和四年十一月二十七日
愛知県知事 大村秀章

新春を迎えて

愛知県知事　大村秀章

あけましておめでとうございます。
新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい 1 年となりますよう、心からお祈り申し上げます。
昨年は、愛知県が誕生してから 150 周年の節目を迎え、愛知のこれまでの歩みを振り返り、県民の皆様とともに郷土への愛着や誇りを持って未来に踏み出すことができました。
そうした中で、日本が世界に誇るオリジナルコンテンツ、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園を迎えるという記念すべき年となりました。
さらに、国際芸術祭「あいち 2022」や世界ラリー選手権などのビッグイベントを成功裏に終えるとともに、世界最高クラスのアリーナ「愛知国際アリーナ」、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の工事に着手するなど、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。
世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県がこれからも、日本の成長エンジンとして、日本の活力を生み出していくためには、こうした時代の波を乗りこなし、イノベーション創出に向け挑戦していかなければなりません。
今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知の強みである分厚い集積を誇るモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、愛知発のイノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。
来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」の 2 エリアが開園します。この第２期オープンに向け、万全の準備を進め、「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。
引き続き、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」の実現を目指し、県民の皆様に、笑顔で元気にお過ごしいただけるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。　2023 年元旦

理事長あいさつ

愛知県母子寡婦福祉連合会　理事長　中條里枝

日頃から皆様には、ひとり親家庭及び寡婦の福祉についてのご理解とご協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。
コロナ禍に入り丸三年が過ぎ、手洗い、マスク、三密は避け、予防接種も万全に、の中、「五類に称する。」と、発表がありました。今後コロナ禍も緩やかなることを願っています。
ひとり親世帯の生活は、依然として厳しい状況にあります。国も児童扶養手当受給世帯への特別給付金等の支給を始め、経済的な支援策を講じましたが、急激な物価上昇に追い付けない現状だと思います。ひとり親世帯のおよそ半数が、相対的貧困と言われています。不安定な雇用形態の者が半数以上を占めるひとり親は経済の影響を大きく受け、常に減収や解雇の不安が生じています。
未来を担う、子ども達の未来への希望、社会が育てる時代がきました。
ひとり親家庭、寡婦家庭は弱い立場と言われても、子どもを育てながら強く生きてきた仲間です。自分の生き方に誇りと自信を持ち、子ども達の健やかな成長を願い、先人から受けたご恩を次の世代へと、繋げていかなければと思います。
県連合会には、今年も沢山のご寄附ご寄贈を賜りました。誠に有難うございます。
最後になりましたが、日頃からご理解とご高配を頂いています、県、市、区、町の行政を始め、関係機関の皆様に感謝申し上げます。